

みんなで夕涼み



毎年恒例となっている井川納涼祭が7月25日に辻小学校で行われ、太陽が沈みかけた時間には涼を求めてたくさんの市民が集まりました。

会場では税金クイズ、福投げや阿波踊り、映画上映会などが行われました。揚げたこ焼きの早食い大会では、参加者が揚げたこ焼きを口いっぱいにはおぼり一生懸命食べる姿に、見ている人たちも声援を送っていました。熱く盛り上がり、涼しい時間を共に過ごした時間はとても有意義でした。

水とふれあう へそっ湖まつり



第22回池田へそっ湖まつりが、7月24日に池田湖水際公園で開催されました。ダム湖ではバナナボート体験やクルージングが行われ、この日はとても暑かったのですが、参加者は水とふれあい気持ちよさそうにしていました。また、メインステージでは、池田中学校ブラスバンド部演奏や風船アート、地元アマチュアバンドコンサート、阿波踊りなどが披露されました。まつりの最後には花火も打ち上げられ、たくさんのお客さんと賑わいました。

親子でパンやピザ作りに挑戦



キリサコ村（大川持農林業体験施設）で7月17日、地元山城町の引地子供会が親子ふれあい活動の一環として、パンとピザ作りを体験しました。この日は約20名が参加し、指導を受けながら、厨房でパンの生地をこねて形を作ったりピザの生地をのばしその上に野菜やチーズをのせたりした後、自然の遠赤外線が出る手作りの石窯での焼きに挑戦しました。焼きあがったパンやピザをみんなで食べて、初めての体験に楽しい時間を過ごしました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

お菓子で夢の家をつくろう

楽しみながら学び住まいについて興味をもってもらおうと、7月31日に中央公民館でお菓子の家をつくる体験講座が開かれました。徳島県建築士会が主催したもので、池田小学校3年生と保護者ら約80名が参加し、建築士と一緒に自分がイメージした家やクッキーやおせんべいなど市販のお菓子を使って作りました。色とりどりの飾りや池のある庭など、それぞれ個性あふれる夢の家が出来上がり、最後にはみんなの作品を発表する完成見学会も行われました。



都市と山村が林業体験で交流



都市と山村の交流イベントとして「森林の楽校」が7月31日から2日間、西井川林業クラブ研修施設や大学の森周辺などで、約50名の参加者のもと開催されました。

里川の森体験コースではパン焼きやゲーム、間伐体験があり子供たちの歓声が山々にこだましていました。チェーンソー資格取得コースでは学科や実技指導が熱心におこなわれ、県外からの参加者からは森林の大切さと林業の役割を知り、山村が抱える課題などを地元の方と一緒に考えていました。

糖尿病を正しく知ろう



三好市池田町出身で、糖尿病の治療、研究で日本各地でご活躍されている柏木厚典先生（滋賀医科大学医学部付属病院院長）を迎え、7月31日に市保健センターで糖尿病市民講座を開催し、約250名の参加者が熱心に耳を傾けました。

糖尿病の合併症予防で重要なことは「血糖コントロールだけではなく、血圧を正常に保つことと、コレステロールなどの血清脂質を正常に保つこと」など、予防から最新治療まで具体的に話していただきました。

全国同人雑誌賞の大賞が決定



山城町出身の小説家故富士正晴さんの功績をたたえて3年に一度実施されている「第4回富士正晴全国同人雑誌賞」の最終審査が7月26日、市中央図書館で行われ、全国149誌の応募の中から福岡県の「九州文学」が大賞に選ばれました。また、今回創設された「富士正晴全国高等学校文芸誌賞」では仙台北百合学園文芸部の「紫苑」が最優秀賞に選ばれました。授賞式は10月30・31日に開かれる富士正晴全国同人雑誌フェスティバルで行われます。

真夏の夜空を彩る花火



三好市内で先頭をきっての花火大会、丸山神社祇園祭花火大会（上野祇園祭花火奉賛会主催）が7月16日に行われました。神社周辺にはたくさんの露天が並び夏祭りの雰囲気を感じました。空が暗くなるにつれ、家族連れや浴衣姿の人などたくさんの見物人が押し寄せ、20時に最初の花火が打ち上げられると大きな歓声が沸きあがりました。

約1時間、夏の夜空に開く大きな華を見上げていると、暑さも忘れ、心地よい気分になりました。

高齢者の交通事故をなくそう



三好交通安全大学の卒業生12人が、7月7日に様々な啓発活動をする「三好交通安全守り隊」を結成しました。

この日は三好警察署で委嘱式があったあと、隊員は早速地域の高齢者宅などを訪問し、啓発活動を行いました。

隊員は今後、地域の高齢者宅やまちかどなど、反射タスキや自転車用反射板など交通安全グッズを配布したり、普段も事故防止への注意を呼び掛けに行ったりします。

元気の根元は続けること



三好市女性連絡協議会総会が開催され、そのなかで阿波踊り御座留連長の四宮生重郎さんを迎え「元気の根元はなんだろう」という演題で講演をしていただきました。

四宮さんは「元気の根元は続けること。やる気が元気にしてくれる。やる気をだすには踊りもそうだが楽しくすること」と語っていました。そのあとは阿波踊りの名手である四宮さんが、正調以外にも洋楽や歌謡曲などでも踊りを披露し、会場の参加者も一緒に楽しく踊りました。